研究分野	授業科目名	科目責任者
生理系分野	周術期管理・集中治療医学特論Ⅰ・Ⅲ	戸田 雄一郎

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1,2,3,4	特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択	特論Ⅰ：4（2/年）, 特論Ⅲ：1/年	

目的

（1）集中治療医学における管理を習得するため，手術･感染・臓器障害などの侵襲による生体反応のメカニズムを理解する。
（2）麻酔科学研究の意義を理解するために，経験した症例を元に手術･感染などの侵襲による生体反応のメカニズムに対する最新の知見を修得する。

授業到達目標

（1）症例をもとに経過を正確に説明できる。
（2）論文をもとに症例の問題点を指摘できる。
（3）臓器障害制御法の提案ができる。

授業計画

回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	毎週	月	7:30-8:30	戸田 雄一郎	講義	[症例検討会]	症例から問題点を抽出し，麻酔科学，集中治療医学に関する文献・書籍を引用して討論する。 [場所:西館棟５階第４カンファレンス室]
2	毎週	金・不定期	7:30-8:30	佐藤 健治 前島 亨一郎	講義	[抄読会・症例検討会]	研究の進捗状況を確認し，文献・書籍を引用して討論する。 [場所:西館棟５階第４カンファレンス室]
3	毎月2回	不定期	8:10-8:30	大橋 一郎	演習	[症例検討会]	循環不全・呼吸不全の病態理解と治療 [場所:総合医療センター]

評価方法

【特論Ⅰ】
（1） 1年間※で 30 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2） 1年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
【特論Ⅲ】
（1） 1年間※で 15 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2） 1年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
ただし，特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものとは異なる論文（症例）であること。
特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。
※１～３年生は２月末まで，４年生は 11 月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。

課題（レポート等）に対するフィードバック

紹介論文の要約について，添削して返却する。

教科書

ISBN-9784055201056, 日本集中治療医学会専門医テキスト第４版, 日本集中治療医学会教育委員会編集, Gakken, 2025
ISBN-9780323760652, Miller's anesthesia, editor-in-chief, Michael A. Gropper ; honorary editor, Ronald D. Miller ; co-editors, Neal H. Cohen ... [et al.], Elsevier, 2020
ISBN-9784521743271, 麻酔科医のためのリスクを有する患者の周術期管理, 横山正尚専門編集, 中山書店, 2018
ISBN-9784895928311, ICU ブック（第４版）, Paul L. Marino （編集）・稲田　英一（監訳）, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2015

参考書

ISSN-0090-3493（Online ISSN-1530-0293）,Critical Care Medicine, Wolters Kluwer Health／Lippincott Williams and Wilkins

準備学習（予習・復習等）

（1）講義ごとに紹介する文献および論文を，次回講義までに読んでおく。
（2）事前に教科書や参考書で約１時間程度，該当箇所を予習しておく。
（3）紹介された論文の要約を作成する。
カンファレンス内で内容の理解が難しかった場合（特に臨床研究での統計解析法など）は教官に質問し、復習・確認を行うこと（20 分程度）。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

（1）課題を探求し，仮説立脚，検証に至るまでの科学的方法論・思考法を知悉する。
（2）卓越した研究成果をあげ，専門分野の深い学識を獲得する。

注意事項・メッセージ

代表的な基礎的および臨床的英文論文を読む習慣を身につけてください。